

(様式6-2)

研究成果概要

所属学校名 伊勢市立有緝小学校

職・名前 教諭 山村勝人

- 1 事業の名称 情報教育内地留学
- 2 留学先の名称 三重大学教育学部
- 3 研究主題 小学校における「3Sカード」を活用した思考力・判断力・表現力を育てる協働的な振り返り活動の実践

4 研究成果の概要

近年、内省的思考が重視されている。現行指導要領でも学習に計画的に取り入れることになり、多くの児童が振り返り活動に取り組んでいる。しかし、視点が明確でなく、具体的な学びの振り返りよりも、授業の印象や感想になりがちで、書かれたものは具体的かつ端的に表現されていない。また、思考の過程よりも基礎的な知識の振り返りが多く、他人と関わっての振り返りはあまりなかった。

そこで、本研究では振り返りの質を向上させるために、視点を明確にした発信・共有を通じた協働的な振り返りの実践を行い、知識の定着を目指した振り返りだけでなく、課題解決の思考過程の振り返りも行うことを目指した。そして、発信・共有のしくみとして「3Sカード」とタブレット型端末を活用し、振り返りや思考過程の表現に有効であるかを検証した。また、思考過程の振り返りが思考力・判断力・表現力の育成に効果があるかを検証した。

実践は小学校5年生算数科の1単元終了後ごとに行った。振り返りを「3Sカード」に書き、グループ内で発表し、タブレット型端末を用いて学級全体で共有した。そして、発表、共有された振り返りの気づきについて話し合いを行った。

実践後の調査用紙の結果によると90%近くの児童が「3Sカード」は考えを書きやすい、発表しやすいとした。3項目、箇条書きのルールが既習の知識の定着や振り返りの表現を促進し、表現力の育成にもつながったと考えられる。タブレット型端末により考えをととても比べやすくなったとした児童が84%いた。可視化、共有された振り返りから、自分の考えへの新たな気づきが生まれ、1人の活動では気づかなかった考え方を他の児童から気づくことができた。実践後の単元テストの結果では、すべての項目において到達率の上昇が見られた。しかし、「思考・判断」が他の項目と比べて伸び少なかった。思考過程の振り返りが不十分であったと考えられる。

今後の課題としては、さらに授業記録やノートなど分析を詳細に行い、本研究における

思考力・判断力・表現力の育成についての可能性をより見出していきたい。また、「3 Sカード」とタブレット型端末のさらなる一体化である。写真で取り込むのではなく、タブレット型端末自体が「3 Sカード」として機能すれば、授業の効率は上がり、振り返りの質を高めていける。そして、算数科以外でも実践を行い、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習において、協働的な振り返りを行っていきたいと考えている。